

県市町村歴史公文書等保存活用共同会議の開催結果について

県や市町村、県民の保有する歴史資料として重要な公文書等の適切な保存及び利活用を推進するための「県市町村歴史公文書等保存活用共同会議」を開催した。

- 1 日 時 平成30年5月9日（水）午後1時半から3時まで
- 2 場 所 倉吉市（新日本海新聞中部本社ホール）
- 3 出席者 県（総務部長、政策法務課、公文書館、図書館、博物館）及び全市町村
（広域行政管理組合はオブザーバ参加）
- 4 議 事
 - (1) 平成29年度事業実績報告について
 - ア 共同会議設立
 - ・4月に施行となった歴史公文書等保存条例に基づく県と市町村の具体的な取組を推進するための組織として設立（4月25日）。
 - イ 部会の開催（3回）
 - ・評価選別部会では、市町村用の歴史公文書等の選別評価基準作成、現用文書部会では、電子決裁・文書管理システムの共同化等について検討した。
 - ウ 研修や災害時等の連携・協力体制の確立、普及啓発の実施
 - ・公文書の評価選別や資料保存・修復の研修を開催し、職員の専門知識や技能の向上を図るとともに、「災害時等の県立公文書館、図書館、博物館等の市町村との連携・協力実施計画」を策定。また、新条例制定記念シンポジウムや巡回企画展（県内4カ所）を開催し、歴史的に重要な資料の保存、活用に関する普及啓発を図った。
 - (2) 歴史公文書等の評価選別基準の標準例（市町村用）について
 - ・市町村が、歴史的に重要な公文書等の適切な管理・保存に活用するための評価選別基準の標準例について、決定した。
 - (3) 平成30年度事業計画について……以下の事業を行うことに決定
 - ア 職員の資質向上のための研修
 - ・歴史公文書等の評価選別に関する研修会
 - ・資料保存・修復に関する研修会
 - ・公文書館職員等が希望市町村を訪問して行う文書の評価選別や修復等の助言、指導
 - イ 部会による個別課題の検討（検討事項の案であり、具体的内容は各部会で決定）
 - ・評価選別部会
市町村用の評価選別基準の標準例を元に文書を評価選別する具体的な方法の検討
 - ・現用文書部会
適切な文書管理を行うための文書の管理・保存のための諸規定の検討
 - ウ 災害時等の連携・協力体制の構築
 - 昨年度策定した災害時等の連携・協力実施計画に基づき、災害等で資料の滅失・破損の恐れがある場合に県市町村が連携して適切に資料の救出を行うことを確認した。
 - エ 地域歴史資料所在調査 災害時の文書救援や資料保存等に活用するため実施する。
 - オ 普及啓発の推進
 - 明治150年特別企画展や明治150年記念講演会を実施し、歴史的に重要な公文書等を残していくことの重要性について普及啓発を図る。